様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人広島市立大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
国際学部	国際学科	夜・通信	6		8	14	13	
情報科学部	情報工学科	夜・通信	6		8	14	13	
	知能工学科	夜・通信			8	14	13	
	システム工学科	夜・通信			8	14	13	
	医用情報科学科	夜・通信			9	15	13	
芸術学部	美術学科	夜・通信	6		10	16	13	
	デザイン工芸学科	夜・通信			12	18	13	
（備考）省令で定める単位数等の基準数相当分を記載								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ウェブサイトで公表している。（閲覧方法：「広島市立大学シラバス公開情報」の「シラバス検索画面」（https://ichipol.g.hiroshima-cu.ac.jp/uprx/）にある。

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人広島市立大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

ウェブサイトに一覧を掲載している。（トップページ＞大学について＞理事会 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/c00044851/）
また、毎年６月に公開する「基礎データ集」にも掲載している。（トップページ＞大学について＞基礎データ集 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/content0270/）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
池田　晃治 （非常勤）	（～2026.6.24） ㈱ひろぎんホールディングス代表取締役会長、㈱広島銀行取締役会長 （2026.6.24～） ㈱広島銀行特別顧問	2025.4.1 ～ 2027.3.31	地域を代表する金融機関の役員を歴任して得た知見を生かし、法人経営及び産学官連携等について、学外からの視点を法人経営・大学運営に反映
村井　純 （非常勤）	慶應義塾大学 特別特区特任教授／ 名誉教授	2025.4.1 ～ 2027.3.31	情報通信分野の著名な学識経験者としての知見や国際的な活動を生かし、DX 及び教育研究等について、学外からの視点を法人経営・大学運営に反映
山本　慶一朗 （非常勤）	㈱中国新聞社 社主兼代表取締役副社長	2025.4.1 ～ 2027.3.31	地域を代表する新聞社をはじめとするメディア各社での経験を生かし、産学官連携及び地域貢献等について、学外からの視点を法人経営・大学運営に反映
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人広島市立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

⑴　授業計画（シラバス）には、「授業コード」、「科目名」、「単位数」、「担当者」、「開講年度学期」、「授業期間区分」、「履修対象」、「関連する資格」、「授業形態」、「実施形態」、「オンライン／オンデマンド（その他）の理由」、「授業の目的」、「到達目標」、「受講要件・履修上の留意点」、「履修取消の可否」、「履修取消不可の理由」、「事前・事後学修」、「授業内容」、「アクティブ・ラーニング」、「期末試験実施の有無」、「評価方法・基準」、「課題や試験に対するフィードバック」、「教科書等」、「担当者プロフィール」、「授業に関連する実務経験」、「キーワード」、「教員からのメッセージ」、「備考」の項目を設けている。

⑵　毎年度、次年度科目担当が決定した後、12 月から翌年 1 月にかけて各教員がシステムで授業計画（シラバス）を作成（時点修正）し、2 月から 3 月にかけて内容確認及び内部公開を経て、4 月から全面公開している。

授業計画書の公表方法	ウェブサイトで公表している。（閲覧方法：「広島市立大学シラバス公開情報」の「シラバス検索画面」（https://ichipol.g.hiroshima-cu.ac.jp/uprx/）にある。

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

⑴　成績は、試験、実技、実習、レポートの成績及び授業等への参加状況を総合して評価している。

⑵　評価は次の基準により行い、「秀」、「優」、「良」、「可」を「合格」とし、所定の単位を認定している。

評価	評価の内容	評点（試験等の得点）	GP	合否
秀	科目の到達目標を十分達成し、到達目標を超えた極めて優秀な成果をおさめている。	90 点～100 点	4	合格
優	科目の到達目標を十分達成している。	80 点～89 点	3	
良	科目の到達目標を達成している。	70 点～79 点	2	
可	科目の到達目標を最低限達成している。	60 点～69 点	1	
不可	科目の到達目標を達成していない。	59 点以下	0	不合格

⑶　上記は、学生向けにウェブサイトへ掲載している手引きに記載し、周知を図っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

⑴　以下によりＧＰＡを算出している。

$$ＧＰＡ＝\frac{（成績評価を受けた授業科目のGP×当該授業科目の単位数）の合計}{成績評価を受けた授業科目の単位数の合計}$$

⑵　ＧＰＡの算出にあっては、卒業要件単位に含めない自由科目は対象外とし、学生は、それぞれ成績評価を受けた学期ごとの「学期ＧＰＡ」と入学時から当該学期までの「通算ＧＰＡ」を成績原簿で確認することができる。

⑶　ＧＰＡは、学生の学習意欲の向上や値を下げることに繋がる無計画な履修抑制に資するとともに、授業料減免や各種奨学金の対象者決定、特待生の選考等に活用している。

⑷　また、ＧＰＡ制度導入と併せて、履修登録をしたものの、授業の内容が自分の勉強したいものと違っていた等の場合には、一定期間内であれば所定の手続により履修登録を取り消せる制度も設けている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学ウェブサイトで公開している。（トップページ＞教育・学生生活＞成績評価・進級基準 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0054/）

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

学士課程における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を以下のとおり定めている。

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

①　多様な文化・価値観を尊ぶための、人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を有している（知識・技能）
②　専門領域に関する体系的な知識・技能を身につけている（知識・技能）
③　発見した問題について論理的に考え、判断することができる（思考力・判断力）
④　自らの考えをわかりやすく表現する能力を身につけている（表現力）
⑤　社会的課題の解決ないしは社会との関わりの中での創作活動に向けて主体的に取り組む姿勢を有している（主体性）
⑥　他者と協働して取り組む姿勢を有している（協働性）

また、各学部における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を以下のとおり定めている。

⑴　国際学部

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与する。

［知識・技能］
1. 人文・社会科学の知見や理論についての系統的な知識を身に付けている。（知識）
2. 人文・社会科学の分野をまたいで学際的に探求する技能を身に付けている。（技能）
［思考力・判断力・表現力］
1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知識や理論を基に社会の諸問題を探求することができる。（思考力）
2. 根拠に基づいて論理的に考え判断することができる。（判断力）
3. 自らの考えを説得的に分かりやすく表現する能力を身に付けている。（表現力）
［主体性・協働性］
1. 社会が抱える課題を自発的に見出し、取り組む姿勢を有している。（主体性）
2. 世界の中で、多様な背景を持った人々とともに生きる社会を築いていくために、他者と協働する態度を有している。（協働性）

⑵　情報科学部

情報科学部は、下記に挙げる３つの観点における能力を修得した者に対して卒業を認定し、次に示すように、修得した内容に応じて「学士（情報科学）」または「学士（情報工学）」を授与する。

・学士（情報科学）：情報科学における真理の探究に必要となる能力を主に修得した者
・学士（情報工学）：情報科学の利活用による課題解決に必要となる能力を主に修得した者

［知識・技能］
1. 多様な文化・価値観を尊ぶための人間、社会、自然に関する幅広い知識を身に付けている。（知識）
2. 情報科学または情報工学における技術者や研究者に求められる基本的な知識を身に付けている。（知識）
3. 情報科学または情報工学の課題に取り組み、結果や考察を理論的に記述することができる。（技能）
4. 国際的なコミュニケーションのための基礎的な語学力を身に付けている。（技能）
［思考力・判断力・表現力］
1. 情報科学または情報工学における知識・技能に基づき、論理的・合理的に思考・判断することができる。（思考力・判断力）
2. 技術者・研究者として自分の考えを分かりやすくプレゼンテーションすることができる。（表現力）
［主体性・協働性］
1. 情報科学の切り口から真理の探求または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。（主体性）
2. 多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組むことができる。（協働性）

⑶　芸術学部

芸術学部では、所定の期間在学中に、所定の単位を修得し、卒業制作を行い、審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与する。なお、学生が卒業までに求められる３つの観点の能力を次に挙げる。

［知識・技能］
〈美術学科〉
以下のいずれか１つの専攻における専門的な知識・技能を有している。

（日本画専攻） 1.日本画における伝統的な絵画表現の知識を身に付けている。（知識） 2.日本画に関する独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能） （油絵専攻） 1.油絵における西洋の伝統的な絵画表現の知識を身に付けている。（知識） 2.油絵に関する独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能） （彫刻専攻） 1.彫刻における伝統的な表現の知識を身に付けている。（知識） 2.現代における独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能） 〈デザイン工芸学科〉 現代表現、視覚造形、映像メディア造形、立体造形、金属造形、染織造形、漆造形のいずれか１つの分野における専門的な知識・技能を有している。 1.デザイン工芸の各分野における歴史的変遷を理解している。（知識） 2.社会や生活に関わる作品を創作するための造形技術を身に付けている。（技能） ［思考力・判断力・表現力］ 1.次代の文化芸術を創造するために、柔軟に想像したものを論理的に構想することができる。（思考力） 2.創作過程における問題に対して、効果的な解決策を見出すことができる。（判断力） 3.作品と言葉によって、創作に込めた自らの考えを的確に他者や社会に伝えることができる。（表現力） ［主体性・協働性］ 1.社会との関わりの中で、自らの感性を創作に生かそうとする姿勢を有している。（主体性） 2.自らの創作を通じて、他者と協働する姿勢を有している。（協働性）	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ウェブサイトで公開している。（トップページ＞各種情報＞教育情報等の公表＞大学の教育研究上の目的及び各ポリシー＞人材育成の目標及び各ポリシー＞【学士課程】人材育成の目標及び各ポリシー https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/category0015/content0111/content0656/）

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人広島市立大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ウェブサイト（トップページ＞各種情報＞財務状況　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/content0013/）
収支計算書又は損益計算書	大学ウェブサイト（トップページ＞各種情報＞財務状況　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/content0013/）
財産目録	該当なし
事業報告書	大学ウェブサイト（トップページ＞各種情報＞財務状況　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/content0013/）
監事による監査報告（書）	大学ウェブサイト（トップページ＞各種情報＞財務状況　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/content0013/）

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：公立大学法人広島市立大学年度計画（令和８年度）対象年度：令和８年度）
公表方法：ウェブサイトで公表している。 トップページ＞大学について＞中期目標・中期計画・年度計画・業務実績報告・評価結果　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/c00036258/
中長期計画（名称：公立大学法人広島市立大学第３期中期計画対象年度：令和４年度～令和９年度）
公表方法：ウェブサイトで公表している。 トップページ＞大学について＞中期目標・中期計画・年度計画・業務実績報告・評価結果　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/c00036258/

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：ウェブサイトに「業務実績報告書」を掲載している。 トップページ＞大学について＞中期目標・中期計画・年度計画・業務実績報告・評価結果　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/c00036258/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ウェブサイトに「自己点検・評価報告書」及び認証評価結果を公表している。 トップページ＞大学について＞認証評価　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/content0016/

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：大学ウェブサイト https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/category0015/content0111/content0796/）
（概要） 【国際学部】 豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成すること。 【情報科学部】 情報工学及び情報科学分野の専門的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成すること。 【芸術学部】 創造性、先見性及び独創性に富み、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材を育成すること。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ウェブサイト https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/category0015/content0111/content0656/）
（概要） 【学士課程全体】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、知識、技能、思考力、判断力、表現力、協働性を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。 【国際学部】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、修得する人文・社会科学の専門的な知見や理論を基に社会が抱える諸問題を系統的、学際的に思考・探究し、解決に向けて他者と協働しながら取り組める資質を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与する。 【情報科学部】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、各学科で修得する専門的知識・技能及びそれらを基に課題解決に取り組む総合的、合理的な思考・判断能力、並びにグローバル社会におけるコミュニケーション能力（語学力）や協働性を身に付けた上で、卒業論文の執筆と発表を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（情報工学又は情報科学）」の学位を授与する。 【芸術学部】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、各専攻分野の専門的知識・技能とそれを基に新たな創作を生み出す応用力を修得し、それらを社会の中で生かそうとする思考力、表現力、主体性、協働性などを身に付けた上で、卒業制作を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ウェブサイト https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/category0015/content0111/content0656/）

（概要）
【学士課程全体】
　上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目、外国語系科目のほか、各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目によりカリキュラムを編成する。

【国際学部】
　上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目や外国語系科目、各プログラム専門科目、演習科目等のほか、キャリア教育、グローバル人材育成、地域志向人材育成などの科目も取り入れ、さらに少人数制の学際的なカリキュラムを編成する。

【情報科学部】
　上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目、各学科の専門科目、実験科目等のほか、キャリア教育、グローバル人材育成、地域志向人材育成などの科目も取り入れ、さらに数学、プログラミング、英語の重点的な教育を行い、学生の多様化に対応したカリキュラムを編成する。

【芸術学部】
　上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目、各専攻分野専門科目、卒業制作のほか、キャリア教育、グローバル人材育成、地域志向人材育成などの科目も取り入れ、基礎実技と応用力の修得、少人数教育、領域横断的教育を重視したカリキュラムを編成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ウェブサイト（https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/category0015/content0111/content0656/）

（概要）
【学士課程全体】
○ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
○ 知的好奇心と探求心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
○ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

【国際学部】
（関心・意欲）
○ 国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人
（知識・技能）
○ 国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人
（思考力・判断力・表現力）
○ 社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人
○ 日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人
（主体性・協働性）
○ 何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人
○ 国際社会や地域社会における人間の営みに関する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働する姿勢を持つ人

【情報科学部】
（関心・意欲）
○ 情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人

（知識・技能）
○ 情報工学・情報科学を学ぶ上で土台となる高等学校等で修得すべき情報、数学、理科及び語学の知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
○ 物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人
○ 自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人
（主体性・協働性）
○ 情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人
○ 多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人

【芸術学部】
（関心・意欲）
○ 芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人
（知識・技能）
○ 高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人
（思考力・判断力・表現力）
○ 関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人
（主体性・協働性）
○ 創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ウェブサイトに、「学部および学科」「大学院および専攻」「附置研究所」「附属機関・施設」の一覧を掲載している。
（トップページ＞大学について＞教育研究上の基本組織　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/content0112/）
（トップページ＞学部・研究科・附置機関等　https://www.hiroshima-cu.ac.jp/department/）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	3 人	－					3 人
国際学部	－	24 人	16 人	2 人	－	－	42 人
情報科学部	－	27 人	35 人	9 人	19 人	－	90 人
芸術学部	－	12 人	9 人	8 人	5 人	－	34 人
広島平和研究所	－	7 人	6 人	2 人	－	－	15 人
その他	－	3 人	4 人	1 人	1 人	－	9 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	160 人	160 人

各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：ウェブサイトで公開している。（広島市立大学教員総覧） https://hcur1.acoffice.biz/hcuhp/KgApp/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

全学及び各学部等において FD・SD セミナー・研修会を企画、実施している。 （2025 年度は、全学で 14 回、各学部等で 11 回実施）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際学部	100 人	110 人	110.0%	400 人	466 人	116.5%	―人	―人
情報科学部	210 人	227 人	108.1%	840 人	946 人	112.6%	―人	―人
芸術学部	80 人	88 人	110.0%	320 人	365 人	114.1%	―人	―人
合計	390 人	425 人	109.0%	1,560 人	1,777 人	113.9%	―人	―人

（備考）

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
国際学部	110 人 (100%)	2 人 (1.8%)	91 人 (82.7%)	17 人 (15.5%)
情報科学部	195 人 (100%)	68 人 (34.9%)	116 人 (59.5%)	11 人 (5.6%)
芸術学部	85 人 (100%)	22 人 (25.9%)	34 人 (40.0%)	29 人 (34.1%)
合計	390 人 (100%)	92 人 (23.6%)	241 人 (61.8%)	57 人 (14.6%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際学部	112 人 (100%)	80 人 (71.4%)	29 人 (25.9%)	3 人 (2.7%)	0 人 (0.0%)
情報科学部	221 人 (100%)	168 人 (76.0%)	40 人 (18.1%)	11 人 (5.0%)	2 人 (0.9%)
芸術学部	89 人 (100%)	75 人 (84.3%)	11 人 (12.3%)	3 人 (3.4%)	0 人 (0.0%)
合計	422 人 (100%)	323 人 (76.5%)	80 人 (19.0%)	17 人 (4.0%)	2 人 (0.5%)

（備考）国際学部においては、留学による留年が多い。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

⑴　授業計画（シラバス）には、「授業コード」、「科目名」、「単位数」、「担当者」、「開講年度学期」、「授業期間区分」、「履修対象」、「関連する資格」、「授業形態」、「実施形態」、「オンライン／オンデマンド（その他）の理由」、「授業の目的」、「到達目標」、「受講要件・履修上の留意点」、「履修取消の可否」、「履修取消不可の理由」、「事前・事後学修」、「授業内容」、「アクティブ・ラーニング」、「期末試験実施の有無」、「評価方法・基準」、「課題や試験に対するフィードバック」、「教科書等」、「担当者プロフィール」、「授業に関連する実務経験」、「キーワード」、「教員からのメッセージ」、「備考」の項目を設けている。

⑵　毎年度、次年度科目担当が決定した後、12 月から翌年 1 月にかけて各教員がシステムで授業計画（シラバス）を作成（時点修正）し、2 月から 3 月にかけて内容確認及び内部公開を経て、4 月から全面公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

⑴　成績は、試験、実技、実習、レポートの成績及び授業等への参加状況を総合して評価している。

⑵　評価は次の基準により行い、「秀」、「優」、「良」、「可」を「合格」とし、所定の単位を認定している。

評価	評価の内容	評点(試験等の得点)	GP	合否
秀	科目の到達目標を十分達成し、到達目標を超えた極めて優秀な成果をおさめている。	90 点～100 点	4	合　格
優	科目の到達目標を十分達成している。	80 点～89 点	3	
良	科目の到達目標を達成している。	70 点～79 点	2	
可	科目の到達目標を最低限達成している。	60 点～69 点	1	
不可	科目の到達目標を達成していない。	59 点以下	0	不合格

⑶　上記は、学生向けにウェブサイトへ掲載している手引きに記載し、周知を図っている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
国際学部	国際学科	124 単位	㊟・無	1 学期 24 単位
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	124 単位	㊟・無	1 学期 24 単位
芸術学部	美術学科 デザイン工芸学科	124 単位	㊟・無	1 学期 24 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ウェブサイトで公開している。（キャンパスマップ・AED 設置場所）
https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/campus-map/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
国際学部	国際学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円	TOEIC
情報科学部	情報工学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円	TOEIC
	知能工学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円	TOEIC
	システム工学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円	TOEIC
	医用情報科学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円	TOEIC
芸術学部	美術学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円 約 360,000 円～約 600,000 円 約 160,000 円～約 420,000 円	TOEIC 教材費（４年分。専攻により異なる。） 学外演習旅行費（専攻により異なる。）
	デザイン工芸学科	535,800 円	（広島市内の者） 282,000 円 （それ以外の者） 423,000 円	5,160 円 約 200,000 円以上 約 85,000 円	TOEIC 教材費（分野により異なる。） 学外演習旅行費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 経済的支援としては、授業料等の減免制度や徴収猶予制度のほか、成績優秀で他の模範となる学生に奨学金を給付する特待生制度を実施している。また、留学する学生に対し、費用の一部を補助する制度を実施している。 学修面の支援としては、リメディアル教育（英語・数学・美術）のほか、ランゲージチューター制度（日本人学生と留学生が母語を教え合うもの）を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） キャリアセンターでは、求人票やインターンシップなどの就職関連情報の提供、就職支援セミナーの実施等により学生の就職・キャリア形成を支援している。 キャリアセンターには経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、就職・進路相談、模擬面接やエントリーシートの添削など、一人ひとりに合わせたきめ細かく丁寧な支援を実施している。 また、ジョブコーディネーターが、就職先やインターンシップ先の開拓をはじめ、地元企業等とのネットワークづくりや採用情報、就職後の卒業生の様子などの情報収集を目的とした企業訪問などを実施している。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的として心と身体の相談センターを設置しており、定期健康診断、応急手当、健康相談、カウンセリング、各業務に関する研究等を行っている。また、ピア・サポーター（学生ボランティア）が、学生生活上、支援を必要としている学生に対して気軽に相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ウェブサイトでの情報公開や、設置団体である広島市の広報課を通じた各メディアへのプレスリリース等により、教育研究活動等の状況の情報公表を行っている。また、個々の教員の教育研究活動等については、ウェブ上で閲覧できる教員総覧（https://hcurl.acoffice.biz/hcuhp/KgApp/）により、公表している。

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F134210109813
学校名（○○大学 等）	広島市立大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	公立大学法人広島市立大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		409人（　243）人	400人（　237）人	435人（　237）人
内訳	第Ⅰ区分	119人	112人	
	（うち多子世帯）	（　31人）	（　23人）	
	第Ⅱ区分	58人	58人	
	（うち多子世帯）	（　—人）	（　—人）	
	第Ⅲ区分	38人	38人	
	（うち多子世帯）	（　—人）	（　—人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	51人	50人	
	区分外（多子世帯）	143人	142人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（　0）人
合計（年間）				435人（　237）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	14人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	—	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	22人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	―人	人	人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	―	人	人
ＧＰＡ等が下位４分の１	―	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	66人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。